

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホーム
ページは
こちら



ホームページでも図書館通信を見ることができます

4月のイベント

状況により変更・中止する場合は
ホームページやtwitterで随時お知らせします。

●いっとくん缶バッジプレゼント

期間：4月12日（金）～

※なくなり次第終了

内容：資料を3点以上借りた方に
いっとくん缶バッジを
プレゼントします。



●こどもの読書週間イベント

4月23日（火）～5月12日（日）※休館日は除く

★楽しいガチャにチャレンジ

期間：4月23日（火）～5月12日（日）

内容：5点以上借りるとガチャにチャレンジできます。
何が当たるかはお楽しみ！（1人1回まで）

★映画会

日時：4月27日（土）14:00～

場所：2階 企画研修室

内容：映画「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのコ」
を鑑賞します。

対象：どなたでもご参加いただけます

定員：20名

受付：3月29日（金）～ ※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話

★「図書館かるた大会」の参加者を募集します

日時：5月12日（日）10:30～

場所：1階 おはなしコーナー

内容：かるた遊びを楽しみます。優勝者には賞状と
プレゼントをさし上げます。

対象：幼児～中学生

定員：15名

受付：4月6日（土）～ ※定員になり次第終了

申込：カウンター・お電話

×（旧ツイッター）
でも 情報配信中！



市貝町立図書館

『いっとくん』

@ittokun_ichikai



★開館時間 9:30～19:00★

★利用者アンケートへ

いただいたご意見について★



1月中に実施した利用者アンケートの
自由記入欄へお寄せいただいたご意見に
スタッフが回答し、4月1日～5月30日
の期間、館内に掲示します。ぜひご覧
ください。



★コミックスを購入しました★



図書館まつりでいただいた
募金・寄付金などでコミック
スの抜け巻や続巻、皆さま
から希望のあった新たなタイ
トルを購入しました。ぜひご
利用ください。

貸出中の場合は予約すると
順番にご連絡します。



●第52回企画展「いちかいの埋蔵文化財」

期間：5月12日（日）まで

※休館日は図書館に同じ

内容：資料館所蔵の考古学遺物を展示し、古代の文化
に触れます。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31※	

…休館日 ※月末資料整理日

本屋大賞は どの作品？



「黄色い家」 川上 未映子 // 著 (中央公論新社)
「君が手にするはずだった黄金について」

小川 哲 // 著 (新潮社)

「水車小屋のネネ」 津村 記久子 // 著 (毎日新聞出版)

「スピノザの診察室」 夏川 草介 // 著 (水鈴社)

「存在の全てを」 塩田 武士 // 著 (朝日新聞出版)

「成瀬は天下を取りにいく」 宮島 未奈 // 著 (新潮社)

「放課後ミステリクラブ①」 知念 実希人 // 著 (ライツ社)

「星を編む」 皿良 ゆう // 著 (講談社)

「リカバリー・カバヒコ」 青山 美智子 // 著 (光文社)

「レーエンデ国物語」 多崎 礼 // 著 (講談社)

4月10日に決定する本屋大賞。今年は何の作品が受賞するでしょうか。予想しながらぜひ読んでみてください。

ノミネート作は1階：受賞作コーナーで紹介しています。



★☆☆☆☆ 今月のスタッフおすすめ本 ☆☆☆☆☆

一般書

「東京RETROタイムスリップ 1984⇔2023」

善本 喜一郎 // 著
(河出書房新社)

1984年と2023年の東京。同位置・同角度から撮影。懐かしい街と現在の風景を並べて紹介。レトロな街の変化を楽しみ、また、2023年の洗練された東京を感じることができます。写真を通して、39年間の日本の生活の変化も垣間見えます。携帯電話もコンビニも一般に普及していなかった時代。世の中の情報を行交う駅の構内で買い求めた新聞の束。どこにでもあった電話ボックス。戦後の復興期から多くの靴磨きが東京駅丸の内サラリーマンの靴を手入れしていたあの頃。今はひとり頑張っている職人の姿。時空超え、東京をタイムスリップ。東京の記憶と思い出の記憶の答え合わせを楽しめる一冊です。

(スタッフ：バムちゃん)

児童書 (中学年向け)

「おかえり、ウミガメ」

高久 至 // 写真・文
(アリス館)

屋久島は日本でいちばん多くアカウミガメが産卵にやってくる島です。しかし、砂浜の減少や防波堤が産卵場所を探す母ウミガメの障害になっているそうです。生まれた子ガメは黒潮に乗って太平洋で大きく成長し、20年以上かけて故郷の海に戻ってきます。壮大なウミガメの冒険を、美しい写真で知ることができます。

(スタッフ：ちょこわんこ)

YA (中高生向け)

「知っておいしい！野菜と果物ずかん」

高畑 健 // 監修
(成美堂出版)

皆さんが普段食べている野菜や果物には、人間などの動物と同じように「一生」があります。

この本では、それぞれの野菜や果物の生態や栽培方法、そしておいしく食べる調理方法を紹介しています。皆さんもこの本を通して、自分の手で触れて観察して、おいしく調理して、野菜や果物の一生を十分味わってみてください。

(スタッフ：ぴっぴ日和)



しょうちゃんのこと

町から広報紙の俳句の選者を依頼されて久しくなりますが、やっているうちに色々な季語を知るようになりました。先日知った季語で「蝉氷(せみごおり)」という言葉。冬の季語で蝉の翅(はね)の様に透き通って薄い氷のことを言います。この二文字で、そんな氷が目に見えなくても。「蝉氷 二歳の靴に 踏み割られ」と詠んでみました。春を待ちかねる寒い頃よりも、もう少し春が近くなった頃の季感と言えば「春隣」。「春隣」と書いて「はるとなり」と読みます。半分凍っていた小川の流れがさらさらと軽い音に変わったり、木の芽が膨らんできたり、冷たい一方だった風がほんの少しだけ何か匂いを含むようになったりと、でもまだ春じゃない。やがて来る柔らかなものを待つ、安心感。けれど、どこか片寄りのない心細さが少しあって、その時を待っている間の方が、心の弾みを感じることが小さい頃から多かったです。「風光る」は春のキラキラした光の風を表す季語。「風薫る」は夏で、木々の緑が香りを運ぶ心地よい風のこと。風にも色々な表情があるのです。私の好きな季語は「黄落(こうらく)」。色づいたイチヨウやクヌギの葉がとめどなく散る風景は、風情があり本当に美しく感じます。歳時記の本は図書館にたくさんありますが、本をめくると外国の言葉にはない独特の言葉があり、日本語ってすごいと感じます。